

相模原市の遺跡2017

お宝
なぞ解き
考古展

博物館de トレジャーハンター

3/18(土)~5/7(日)
観覧無料 午前9時30分~午後5時

休館日 月曜日(祝日を除く)・3/21(火)
会場 相模原市立博物館 特別展示室

同時開催 さがみはら発掘最新情報

大日野原遺跡
土器に付いた土偶

おびのっち

クイズで
なぞ解き

古代のさがみはらを
楽しみながら学ぼう!

考古学者さがぼんと大日野原遺跡の土偶から生まれたおびのっちといっしょに、さがみはらの太古の遺跡から発見された“お宝”の謎を解きあかす、参加型謎解き考古展。

わたしたちの足下の大地には、何千年、何万年といたはるか昔の先人たちの暮らしが眠っています。発掘調査によって眠りからさめた考古資料は、先人たちの暮らしの知恵や物の美しさ、神秘的な祈りの思いが形となり、わたしたちに問いかけるのです。考古資料の謎をクイズで答えながら進む歴史冒険にいざチャレンジ!

さがみはらの謎を解きあかす！
おびのっちといっしょに



相模原市立博物館
SAGAMIHARA CITY MUSEUM

主催：相模原市立博物館・相模原市教育委員会 文化財保護課
〒252-0221 TEL.042-750-8030
相模原市中央区高根3-1-15 FAX.042-750-8061

<http://sagamiharacitymuseum.jp/>

相模原市立博物館

検索

テーマ展

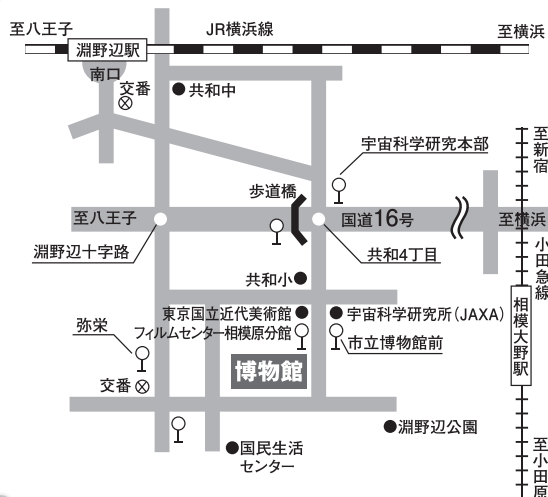
博物館 de トレジャーハンター
～お宝なぞ解き考古展～

石器づくりや土器の色の違いと形、縄文土器に飾られる蛇、土器の植物^{へび}庄痕、^{あつこん}竪穴住居の^{たてあな}住まい、鏡に描かれた神獣、古墳に埋葬された人の装身具、編み物と糸づくり、土器に書かれた文字、土偶に見る装い、磨かれた石など、さまざまな時代の考古資料を12のテーマに沿って展示。クイズに答えながら子どもから大人まで楽しく相模原の歴史を学ぶことができる参加型なぞ解き考古展です。

速報展

さがみはら発掘最新情報

相模原市内には531箇所の遺跡があり、毎年のようにどこかで発掘調査が行われています。近年行われた発掘調査のうち、淵野辺嶽之内下遺跡(旧石器)、中村遺跡(旧石器・古代)、橋本遺跡(縄文)、勝坂遺跡(縄文)、下溝稻荷林遺跡(縄文)、下森鹿島遺跡(古代)のほか、市民協働で調査が行われている津久井城跡(中世)と相生の塚(中世)の最新の調査成果を展示します。

津久井城跡の
市民協働調査風景

関連事業(いずれも参加無料)

記念講演会
「縄文世界の土偶 ～形の変化とその面白さ～」

日時 4月2日(日) 午後2時～4時
場所 博物館 大会議室
講師 原田昌幸さん(文化庁主任文化財調査官)
定員 200人(申込不要、先着順)
内容 大日野原遺跡出土の土偶装飾付き土器や橋本土偶型式など相模原での土偶研究との関わりをもとに、全国的な視野から見た土偶の移り変わりやその魅力についての講演。

さがみはら発掘調査成果発表会

日時 4月23日(日) 午後1時～4時30分
場所 博物館 大会議室
講師 各発掘調査担当者
定員 200人(申込不要、先着順)
内容 速報展で紹介している8遺跡の発掘調査成果の発表。

博物館deクイズラリー

日時 3月19日(日)、26日(日)、4月9日(日)、16日(日)、30日(日)、5月5日(祝)、6日(土)、7日(日)
いずれも午前9時30分～午後5時
場所 博物館 特別展示室
申込 不要(直接会場へ)
内容 クイズラリーにチャレンジ! 全問回答者にはオリジナル考古グッズをプレゼント(なくなり次第終了します)。

縄文ワークショップ

日時 5月5日(金・祝日) 午前10時00分～午後4時
場所 博物館 特別展示室前
協力 相模原縄文研究会
申込 不要(直接会場へ)
内容 縄文時代をイメージした体験教室で、
①アングリコースター、②縄文ミサンガ、
③どんぐり笛づくりを行います。

ミュージアムトーク

日時 4月9日(日)、5月7日(日)
いずれも午後2時～3時
内容 担当学芸員による展示解説。

淵野辺駅南口から

- 徒歩20分
- バス青葉循環博物館廻り(淵37系統)で「市立博物館前」下車すぐ
- バス青葉循環共和廻り(淵36系統)「市立博物館前」下車すぐ

相模大野駅から

- バス相模大野駅行き(相02系統)で「宇宙科学研究本部」下車5分

相模原駅から

- バス相模大野駅行き(相02系統)で「宇宙科学研究本部」下車5分

上溝駅から

- バス淵野辺駅南口行き(淵53・59系統)で「弥栄」下車8分

お車でお越しの場合

- 国道16号「共和4丁目」交差点を西へ500m・無料駐車場95台